

【資料2】展示の基本的な考え方

《将来構想「スポーツ博物館の意義・目的：背景」より抜粋》

- スポーツは個人的な恩恵だけでなく 社会的な恩恵をもたらす など多様な価値を有している
- スポーツ関係人口の拡大に向けては大きな課題があり、それらにはスポーツの 多様な価値の理解が不十分 であるということも関係しているものと思われる
- 行き過ぎた勝利至上主義 に象徴されるように、スポーツの価値の特定の面だけが強調されるあまり、スポーツの多様な価値が見失われているあるいは十分理解されていない
- 国は、クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上を目指し、スポーツ・インテグリティを高めるための取組を進めている

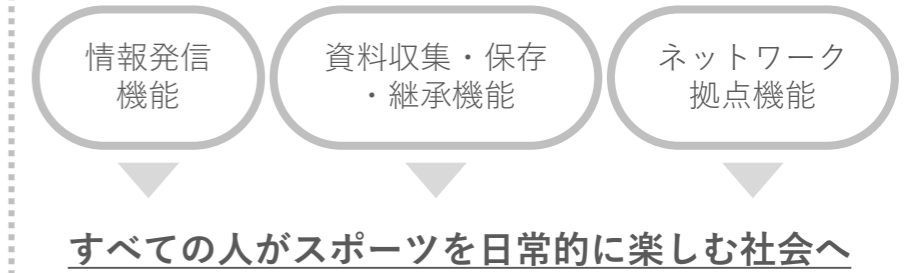
《新秩父宮ラグビー場（仮称）基本計画より抜粋》

整備方針：文化交流施設

スポーツの多様な価値を伝えるネットワークの拠点としての秩父宮記念スポーツ博物館及びラグビーの魅力発信するミュージアムを計画

《基本計画「コンセプトの再定義」より抜粋》

日本で唯一の総合スポーツ博物館・図書館として、スポーツの多様な価値を伝え、スポーツ及びスポーツ文化の振興に寄与する、スポーツ ネットワーク拠点



《展示の方向性》

- ① スポーツへの興味の有無に関わらず、誰もが楽しめる展示とする
- ② 貴重なスポーツ資料を活用し、ここでしか得られない展示体験を提供する
- ③ 豊富で網羅的な資料を入れ替えながら展示し、くり返し訪れたい場所とする



《当館の資料の特徴》

- ① それぞれの資料に対して、科学・歴史・アート等の多様なエピソードが紐づく
- ② 見る、する、支える等の異なる視点によって、資料の多様な解釈が可能

《展示のコンセプト》



スポーツ・マルチスコープ

探求型展示で“スポーツ”を多面的・多角的に見ることで自分なりの「sport」を発見！

あらゆる側面を
見てみる



異なる視点で
見てみる